

## 3

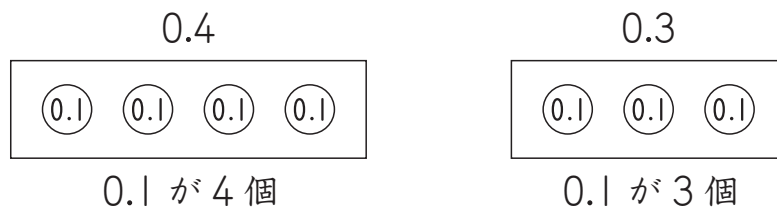
ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$  についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。

0.1 を  $\textcircled{0.1}$  として下の図のように表します。



$0.4 + 0.3$  の計算は、0.1 をもとにすると、 $4 + 3$  を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$  は、0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$  について同じようにまとめます。

0.4 は  $\boxed{\text{ア}}$  の 40 個分、0.05 は  $\boxed{\text{ア}}$  の 5 個分です。  
 $0.4 + 0.05$  の計算は、 $\boxed{\text{ア}}$  をもとにすると、 $40 + 5$  を使って考えることができます。

上の  $\textcircled{\text{ア}}$  にはすべて同じ数が入ります。 $\textcircled{\text{ア}}$  に入る数を書きましょう。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、**もとにする数**を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。

**もとにする数**が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、**もとにする数**を同じ数にして考えることができます。

**もとにする数**を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。